



安心・安全情報

NO. 2

令和6年6月19日
札幌市立西宮の沢小学校

子育て中のカラスに注意

西宮の沢公園において、カラスの威嚇行動があるとの情報が学校にありました。手稲区土木センターに連絡し、対応（注意喚起）をお願いしています。

カラスは繁殖期（およそ4月上旬から7月下旬）になると、卵やヒナを守ろうとする野生の習性から、巣の近くに人を寄せ付けないようにするため威嚇をしてきます。威嚇でも人が遠ざからないときは、後方から低空で飛んできて頭をかすめたり、脚で後頭部を蹴ったりなどの攻撃をすることがあります。

下記のことに注意するように学級指導しましたので、ご家庭でも声掛けのほどよろしくお願いいたします。

①カラスの巣に近づかないように回り道をする

* カラスの縄張りは半径約20～100メートルといわれています。縄張りから離れると、威嚇行動はおさまります。「カッカカッ」と小刻みに鳴いているときは、近くに巣がある可能性が高いのでその場から遠ざかるか、迂回するようにしましょう。

②どうしても通行しなければならぬときは・・・

- * 巣を見つけても巣の下で立ち止まったり見上げたりしない。
- * 頭・肩を覆うように傘を差す。
- * 頭を守るために帽子をかぶる。
- * 腕をまっすぐ上げて動かさずにゆっくり通過する。
- * 歩くときは周囲にも注意してください。

※自宅などの民有地に営巣されたとき・・・

- * 威嚇が少なければ子育て期間をしのぐことも考えられますが、威嚇行動がひどいときは巣の撤去も被害を防ぐ一つの方法です。（ただし、市では民有地の巣の撤去は行っていません。）
- * 巣の中に卵やヒナがいる場合の巣の撤去は鳥獣保護など法律によることがありますので、環境局環境都市推進部環境共生担当課（211-2879）までお問い合わせください。

※公園・街路樹に営巣し、威嚇しているときは・・・

- * 各区の土木センター（手稲区は681-4011）にお問い合わせください。

参照：札幌市 HP～<https://www.city.sapporo.jp/kurashi/animal/choju/soudan/karasuhigai/>